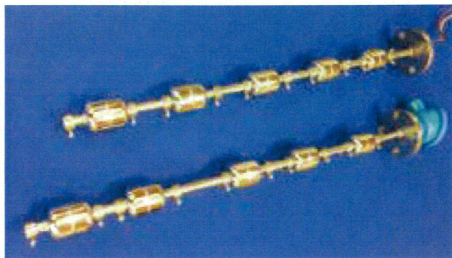
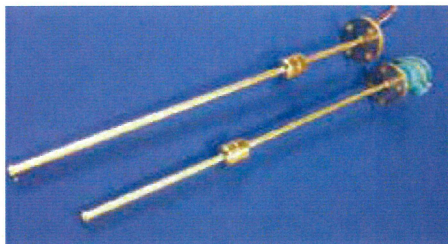


自己保持型フロートスイッチ



一般的なフロートスイッチは、検出ポイント1点に、フロートが1個使われます。

フロートがスイッチに近づくとオンし、通過して遠ざかるとスイッチが再度オフします。このため、オン状態が持続出来ず、検出ポイント1点にフロートが1個必要になります。又、検出ピッチは、フロートのサイズにより制約されます。



当社の自己保持型は、フロート1個で多点の検出ができます。

フロートがスイッチ動作位置を通過してもオン状態を保持し続ける方式を採用。フロート1個で多点の検出を実現しました。



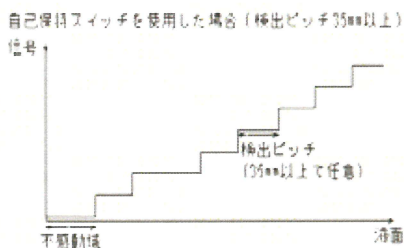
清掃作業の工数低減。
検出ピッチを短くできます。

連続水位計

当社の連続水位計は、10ミリピッチだけでなく、35ミリ以上はご自由に選択できます。更にステム外径φ10ミリと細くすることが可能で、ウキコも小型化が可能です。

⇒必要な検出ポイントのみにスイッチを設置する事により無駄を無くします。

当社製連続水位計の動作原理



特長1

検出ピッチは35ミリ以上であれば任意に設定できます。

監視したい部分のピッチを細かくし、それ以外の部分のピッチを大きくとる事で、スイッチ点数をへらす事ができ、価格メリットが出せます。

特長2

検出するピッチは35ミリ以上であれば、自由に設定する事が出来るので、液体の量と信号に相関を持たせる事が出来ます。

無駄の無い設計により
お客様に最適な連水計をご提案致します